

**平成 30 年度**

**茨城大学大学院人文社会科学研究科**

**(修士課程)**

**学 生 募 集 要 項**

**文化科学専攻(追加募集)**

**茨城大学大学院  
人文社会科学研究科**

# 1. 募集人員

専攻	募集人員	
文化科学専攻	若干名	一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を含む

# 2. 出願資格

専攻 区分	文化科学専攻、社会科学専攻
一般選抜	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校教育法第 83 条に規定する大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者</li> <li>(2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者</li> <li>(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者</li> <li>(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者</li> <li>(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者</li> <li>(6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者</li> <li>(7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）</li> <li>(8) 平成 30 年 3 月末日において、大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学の大学院において認めた者</li> <li>(9) 平成 30 年 3 月末日において、外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学の大学院において認めた者</li> <li>(10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者</li> <li>(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 22 歳に達する者</li> </ol>
社会人特別選抜	<p>次の各号のいずれかに該当する者。ただし、外国人留学生は除く。また、地域政策研究（社会人）コースに出願出来るのは、地方議員（経験者を含む）と現職の自治体職員に限る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 入学時に、大学卒業後（外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したものを含む）、若しくは学士の学位取得後 1 年以上の職歴を有し、かつ、現在有職（アルバイトを除く）の者</li> <li>(2) 入学時に、大学卒業後若しくは学士の学位取得後 3 年以上経過している者</li> <li>(3) 入学時に大学を卒業、若しくは学士の学位を取得しており、かつ 3 年以上の職歴を有する者（両条件の前後関係は問わない）</li> <li>(4) 本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 3 年以上の職歴を有し、かつ、現在有職（アルバイトを除く）の者で、23 歳に達する者</li> <li>(5) 大学を卒業、若しくは学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者で、勤務先からの推薦により在職のまま派遣される者</li> </ol>

外国人留学生特別選抜	<p>(1) 日本の国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者</p> <p>(2) 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）における「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に在留資格を「留学」に変更できる者</p> <p>(3) 日本語能力に関し、以下のいずれかの認定を受けた者</p> <p>①(独)国際交流基金及び(財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験 N2 以上又は 2 級以上、②(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語科目）で直近の試験を含む 4 回分（2 年間）のうち本人が受験した 1 回分について平均点以上、③(財)日本語検定協会が実施する J.TEST 実用日本語検定準 B 級以上</p> <p>上記(1)(2)(3)の要件を満たし、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者</p> <p>② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者</p> <p>③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することに及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）</p> <p>⑤ 平成 30 年 3 月末日において、外国人留学生として大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学の大学院において認めた者</p> <p>⑥ 外国人留学生として、学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 22 歳に達する者</p>
------------	---

※ 個別の入学資格審査による『入学時に〇〇歳に達する者』の解釈については、平成 30 年 3 月 31 日までに出願資格該当年齢に達する者とする。

### 3. 事前審査

一般選拔出願資格(8)、(9)、(10)及び外国人留学生特別選拔出願資格⑤で出願しようとする者については、出願資格認定審査を行うので、あらかじめ人文社会科学部入試係に申し出て、次の書類を5の(2)の出願書類とあわせて提出すること。

○ 事前審査の取扱いは次のとおりとする。

(1) 提出書類

- ①出願資格「事前審査」申請書（本研究科所定用紙）
- ②成績証明書（日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること）
- ③その他本研究科が必要と認める書類

(2) 事前審査の結果通知

事前審査の結果は、人文社会科学研究科長より本人宛て郵送（速達）で通知する。

### 4. 個別審査

一般選拔出願資格(11)、社会人特別選拔出願資格(4)若しくは外国人留学生特別選拔出願資格⑦に該当し、個別審査を必要とする者は次のとおりとする。

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者、外国大学日本分校、外国人学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者

○ 個別審査の取扱いは次のとおりとする。

(1) 提出書類

- ① 「個別審査」申請書（本研究科所定用紙）
  - ② 出願理由書（本研究科所定用紙）
  - ③ 経歴書（本研究科所定用紙）
  - ④ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの 日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること）
  - ⑤ 最終学校の学業成績証明書（日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること）
- 上記①～⑤までの書類等を取りまとめ、人文社会科学部入試係に5の(2)の出願書類とあわせて提出すること。

(2) 個別審査の結果通知

個別審査の結果は、人文社会科学研究科長より本人宛て郵送（速達）で通知する。

(3) 個別審査における選考基準

最終学校の学業成績・経歴書及び出願理由書等を総合的に審査して判定する。

## 5. 出願手続

### (1) 出願期間及び方法

出願書類を持参する場合の受付時間は9:30~12:00、13:00~16:00とする。(ただし、土・日・祝祭日は受付業務は行いません。)

郵送による場合は、速達書留郵便とし、封筒の表に「平成30年度茨城大学大学院人文社会科学研究所入学願書在中」と朱書きすること。<期間内必着>

期限後に到着したものについては、受理しませんので、早めに出願するようにご注意ください。

区分 専攻	追加募集 (一般、特別選抜)	受付場所及び提出先
文化科学専攻	平成30年2月23日(金) ～ 平成30年2月28日(水)	〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学人文社会科学部 入試係 TEL 029-228-8102

### ◎出願に関する注意事項

1. 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
2. 出願後は、記載事項の変更はできません。
3. 出願書類受理後は、出願書類を返却しません。
4. 出願書類の記載と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。  
また、合格者発表後や入学後でも、合格あるいは入学を取り消すことがあります。

## (2) 文化科学専攻秋入試出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要	一般選抜	社会人 特別選抜	外国人留学生 特別選抜
入 学 願 書	本学所定用の紙に必要事項を記入すること。	○ (一般選抜用)	○ (社会人特別選抜用)	○ (外国人留学生特別選抜用)
受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定用の紙に必要事項を記入し、写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽のもの（縦 4.5cm×横 3.5cm）を貼付すること。	○	○	○
振込受付証明書 (検定料)	<p><b>30,000円</b></p> <p>次の①から③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。</p> <p>①金融機関の窓口で納入する場合</p> <p>ア 別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。郵便局、銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。</p> <p>イ 振替払込受付証明書と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取り、提出してください。</p> <p>1. 必ず金融機関窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</p> <p>2. 『振替払込請求書兼受領証』は本人控えです。提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。</p> <p>3. 振込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は受験番号ではありません。</p> <p>②コンビニエンスストアで納入する場合</p> <p>ア ○○ページを参照の上、納入してください。</p> <p>イ 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」を受け取ってください。</p> <p>ウ 「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ 出願期間最終日の納入受付時間は15時までとなりますので、ご注意ください。</p> <p>③クレジットカードで納入する場合</p> <p>ア e-apply（イーアプライ）ホームページ (<a href="http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/">http://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/</a>) にアクセスし、納入手続きを行ってください。</p> <p>イ 手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のある URL よりアクセスし、PDF ファイルをダウンロードの上、「申し込み明細書」をプリントアウトしてください。</p> <p>ウ 「申し込み明細書」に印字されている「収納明細書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ 出願期間最終日の納入受付時間は15時までとなりますので、ご注意ください。</p> <p><b>【注意事項】</b></p> <p>1. 納入時の手数料は、志願者負担となります。</p> <p>2. 出願書類受理後は、振込済みの検定料は返還できません。ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、検定料の返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される場合は、振込手数料を差し引いた金額となります。 &lt;検定料返還に関する問い合わせ先&gt; 茨城大学財務部財務課経理グループ (電話 029-228-8561)</p> <p>3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等の問い合わせは次のとおりです。 学び・教育サポートセンター (電話 0120-202079)</p>	○	○	○
成 績 証 明 書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封したもの。 ※日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること。	○	○	○

卒業（見込） 証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成したもの。 ※日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること。	○	○	○
学位授与証明書	学位授与機構が発行したもの	該当者のみ	該当者のみ	
学士の学位授与申請 証明書	学位授与機構に学士の学位授与申請をしている旨を明記した証明書（様式任意）で出身大学学長又は学校長が作成したもの。	該当者のみ	該当者のみ	
学位授与証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成したもの。 ※日本語以外の証明書は、必ず日本語訳を添付すること。			該当者のみ
受験承諾書 及び推薦書 〔入学後も 在職する方〕	官公庁・会社等に在職のまま入学しようとする者は、所属長が作成したもの。 本学所定の用紙により提出すること。		出願資格(5)の者	
卒業論文・卒業研究 報告書、又はそれに 代わるレポート	志望する専攻分野の内容に即した卒業論文・卒業研究報告書の研究業績を有する者は、その卒業論文・卒業研究報告書（写しでもよい）を提出すること。（口述試験の際に返却する）	該当者のみ	該当者のみ	該当者のみ
日本語能力証明書	次の①～③のいずれか一通 ①(独)国際交流基金及び(財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N2以上又は2級以上）の日本語能力認定書の写し。②(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語科目）の成績通知書の写し（直近の試験を含む4回分（2年間）のうち本人が受験した1回分に限る。平均点以上が基準）。③(財)日本語検定協会が実施する J.TEST 実用日本語検定準 B 級以上の認定証の写し。			○
研究計画書	2000字以上4000字以内。テーマは志望する専門領域に即したものであること。 作成にあたり、パソコン使用の場合は、A4判用紙に40字×30行、11ポイントで印字すること。手書きの場合は、A4判400字詰原稿用紙を使用すること。表紙には、出願者氏名及び志望する専攻、コース、分野、および専門領域を明記し、上部2ヶ所をホチキスで綴じること。	○	○	○
住民票	市区町村長発行のもので、出願前1ヶ月以内に交付されたもの。	外国籍の者		○
受験票等送付用封筒	返信用封筒(長形3号)に、住所、氏名及び郵便番号を明記し、 <b>切手82円分</b> を貼付すること。	○	○	○

(注) イ. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者は、最終学校の学業成績証明書及び卒業（修了）証明書を添付すること。（ただし、コピーは不可）  
ロ. 入学検定料は、日本政府（文部科学省）の奨学金による外国人留学生については必要としない。この場合、国費の留学生であることの証明書を添付すること。

## 【注意事項】

- イ. 副専攻としたい「教育プログラム」がすでに決定している場合には、プログラム名についても記載すること。（30頁記載のプログラム①～②から一つ選択）
- ロ. 出願前に、出願希望の専門領域を担当する教員と連絡をとり、自分の研究したい内容・領域について、当該教員が専門的な研究指導が可能かどうか、また教員の状況等を予め確認しておくことが望ましい。

## 6. 選抜方法

筆記試験と口述試験の各結果を総合して判定する。

ただし、筆記試験と口述試験のいずれかかの評価が一定の基準に達しない者は、各試験の評価にかかわらず不合格とする。

成績証明書、研究計画書等の出願時提出書類は、口述試験の参考とする。

文化科学専攻では、社会人特別選抜出願資格（5）に該当する者は筆記試験を免除する。

筆記試験（専門科目、小論文）の問題は、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜によって異なることがある。

文化科学専攻コミュニケーションコースの口述試験においては、一般選抜、特別選抜を問わず、英語での面接を行なう場合がある。

## 7. 募集領域・専門科目等案内

(別掲のとおり)

## 8. 試験日時及び試験場

平成30年3月7日(水)				
専攻	試験区分	試験科目及び時間割		
文化科学専攻	一般選抜		小論文 10:00~12:00	口述試験 14:00~
	社会人特別選抜			
	外国人留学生特別選抜			

試験場 茨城大学人文社会科学部(茨城県水戸市文京2-1-1)

## 9. 合格者発表

専攻・試験区分	日時	場所
文化科学専攻・各選抜共通	平成30年3月23日(金)13時頃	人文社会科学部B棟玄関に掲示

合格者には合格通知書等を郵送します。(電話等による照会には、一切応じておりません。)

## 10. 入学手続

### (1) 手続期間及び場所

平成30年3月26日(月)から3月28日(水)の間に、茨城大学人文社会科学部入試係に直接来学して手続を行ってください。

(受付時間: 9:30~12:00、13:00~17:00)

### (2) 入学料及び授業料

① 入学手続の際納付する入学料及び授業料は、次のとおりです。

入学料 282,000円

授業料 267,900円 (年額 535,800円)

(注1) 入学手続までに入学科及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用される。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

② 入学料については免除及び徴収猶予制度、また、授業料については免除及び徴収猶予並びに月割分納制度があるので、希望する者は、入学料又は授業料を納入しないで、入学手続前に学生支援センター

(電話 029-228-8067) にお問い合わせください。

## 11. 奨学金

日本学生支援機構による奨学金制度が主であり、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金の2種類があります。日本学生支援機構の奨学金は、本人の申請に基づき、日本学生支援機構奨学規程により選考の上、奨学生に採用されると貸与されます。貸与月額第一種奨学金は 50,000円・88,000円から選択、第二種奨学金は 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円の中から選択することができます。

また、日本学生支援機構大学院第一種奨学生で、在学時に特に優れた業績を挙げた者として機構が認定した者には、貸与期間終了時に、奨学金の全部または一部の返還が免除されます。詳細は、学生支援センター(電話 029-228-8059) にお問い合わせください。



## 1 2. 教育方法の特例

大学院設置基準第 14 条の特例により、大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他の特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができることになっているため、社会人で入学後も勤務を継続する場合は、大学院設置基準第 14 条の特例の手続きが必要となります。

文化科学専攻コミュニケーションコースにおいては、大部分の授業を夜間に開講する予定のため、上記特例の手続きが必要となります。

## 1 3. 長期履修学生制度

この制度は、学生が、職業を有している等の事情による修学の困難さに対して、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができます。長期履修学生として認められた場合、授業料は、標準修業年限分の授業料総額を、認められた一定の期間に学期毎に均分して支払うこととなります。

手続は、入学手続きと同時に進行することになっていますので、希望者は、早めに 16.の問い合わせ先へ連絡をお願いします。

## 1 4. 情報提供

受験して不合格になった者の個人成績を、申請により受験者本人に限って開示します。

(1) 申込期間 平成 30 年 5 月 1 日（火）から 6 月 29 日（金）まで 9 時から 17 時

（ただし、土・日・祝祭日を除きます。）

(2) 申請者 受験者本人に限ります。

(3) 次の書類を持参のうえ来学し、所定の用紙により申込をしてください。

○受験票

○本人確認のできる書類（学生証、免許証、パスポート等）

○返信用封筒（長形 3 号）に、申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、512 円切手を貼付

電話・郵送等での申込みは受け付けません。

(4) 申請先 人文社会科学部入試係

(5) 開示方法 受験者本人あてに、書留郵便で送付します。

(6) 開示内容 筆記試験については、不合格者の中での成績を段階別に区分して開示します。

口述試験については、満点中の点数を開示します。

## 1 5. 個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の趣旨に則り、「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が出願書類等により志願者から提出された個人情報については、入学者選抜に係る調査・研究並びに就学に係る用途のみに使用し、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は、第三者に提供することはありません。

## 1 6. 問い合わせ先

この募集要項及び受験上の注意事項等に関する照会等は、下記あてに連絡をお願いします。

茨城大学人文社会科学部入試係

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 TEL 029 (228) 8102

# 所 定 用 紙

平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科 [修士課程]

出願資格「事前審査」申請書

( 事 前 審 査 用 )

提出年月日 平成 年 月 日

茨城大学大学院  
人文社会科学研究科長 殿

私は、大学院出願資格の「事前審査」を受けたいので、申請いたします。

本人署名 \_\_\_\_\_

志 望 専 攻	人文社会科学研究科 _____ 専攻
フリガナ 氏 名 生年月日・性別	年 月 日 ( 歳) 男 ・ 女
フリガナ 現 住 所	〒 —  ☎ ( ) —
フリガナ 連 絡 先	〒 —  ☎ ( ) —
添 付 書 類	① 成績証明書 ② 返信用封筒 (長形 3 号、82 円切手貼付)

\*裏面の履歴書にも正確に記入すること。

履 歴			
区分	期 間	年数	学 校 名
学 歴	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		

記入上の注意

一般選抜出願資格 (9)、外国人留学生特別選抜出願資格⑤で出願しようとする者については、小学校から記入すること。

それ以外の者は大学以上を記入。

平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科 [修士課程]

入学試験出願資格「個別審査」申請書

( 個 別 審 査 用 )

提出年月日 平成 年 月 日

茨城大学大学院  
人文社会科学研究科長 殿

私は、大学院出願資格の「個別審査」を受けたいので、申請いたします。

本人署名 \_\_\_\_\_

志 望 専 攻	人文社会科学研究科 _____ 専攻
フリガナ 氏 名 生年月日・性別	年 月 日 ( 歳) 男 ・ 女
フリガナ 現 住 所	〒 —  ☎ ( ) —
フリガナ 連 絡 先	〒 —  ☎ ( ) —
添 付 書 類	① 出願理由書 (本研究科所定の用紙) ② 経歴書 (本研究科所定の用紙) ③ 最終学校の卒業 (修了) 証明書 (生年月日記載のもの) ④ 最終学校の学業成績証明書 ⑤ 返信用封筒 (長形 3 号、82 円切手貼付)



平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科 [修士課程]

経 歴 書

( 個 別 審 査 用 )

フリガナ 氏 名		生年 月日	年 月 日生	性別	男 女
-------------	--	----------	--------	----	--------

最 終 学 歴

年 月 _____	入学
年 月 _____	卒業 (修了)

経 歴

期 間	[ 経 歴 内 容 ] 卒業 (修了) 後の職歴 (実務経験)、学習歴、国際的な協力 事業への参加・活動経験等について詳細に記入してください。
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

平成 年 月 日

本人署名 \_\_\_\_\_

# 平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科入学願書

( 一 般 選 抜 用 )

※欄は記入しないこと。

受付 月 日	※ 月 日	入学 検定料	※ 月 日	受験番号	※
-----------	----------	-----------	----------	------	---

フリガナ 氏 名					
生年月日・性別		年 月 日 ( 歳) 男・女			
志 望	専 攻				
	コ ー ス				
	分 野				
	専 門 領 域				
	教育プログラム (該当者のみ)				
出 願 資 格	大学		学 部	学 科 ( 課 程)	
			年 月	日卒業・卒業見込	
		その他			
現 住 所	〒 —		電話 ( )	—	
合格通知書等受信場所	〒 —		(電話番号を必ず記入すること)	電話 ( )	—

履 歴 (学歴は、高等学校から記入すること)				
区分	期 間	年数	学 校 名 又 は 勤 務 先 名 等	
学 歴	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
職 歴	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			

記入上の注意 虚偽の記載をした者は、入学を取り消すことがある。



# 平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科入学願書

( 社会人 特別 選 抜 用 )

※欄は記入しないこと。

受 付 月 日	※ 月 日	入 学 検 定 料	※ 月 日	受 験 番 号	※
------------	----------	--------------	----------	---------	---

フリガナ 氏 名					
生年月日・性別		年 月 日 ( 歳) 男・女			
志 望	専 攻				
	コ ー ス				
	分 野				
	専 門 領 域				
教育プログラム (該当者のみ)					
出 願 資 格	大学		学部	学科 (課程)	
	年 月		日卒業・卒業見込		
その他					
現 住 所	〒 ー		電話 ( ) ー		
勤 務 先 名 及 び 住 所 (有職者の場合)	〒 ー		電話 ( ) ー		
合格通知書等受信場所	〒 ー		(電話番号を必ず記入すること) 電話 ( ) ー		

履 歴 (学歴は、高等学校から記入すること)				
区 分	期 間	年 数	学 校 名 又 は 勤 務 先 名 等	
学 歴	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
職 歴	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			

記入上の注意 虚偽の記載をした者は、入学を取り消すことがある。

# 平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科入学願書

(外国人留学生特別選抜用)

※欄は記入しないこと。

受付 月 日	※	月 日	入学 検定料	※	月 日	受験番号	※
-----------	---	-----	-----------	---	-----	------	---

氏 名		(自国語表記)					
		(英語表記)					
		(日本語カナ表記)					
生年月日・性別		年 月 日 ( 歳) 男 ・ 女					
志 望	専 攻						
	コ ー ス						
	分 野						
	専 門 領 域						
	教育プログラム (該当者のみ)						
国 籍							
在 留 資 格							
在 留 期 間		年 月 日 から 年 月 日まで					
日本に おける	本人の住所		〒 —————				電話 ( ) —
	連絡先	氏名				本人との関係	
		住所	〒 —————				電話 ( ) —
最 終 出 身 学 校		大 学		学 部		学 科 ( 課 程)	
				年 月 日 卒業・卒業見込			
合 格 通 知 書 等 受 信 場 所		〒 —————				(電話番号を必ず記入すること) 電話 ( ) —	

## 記入上の注意

1. 国籍、在留資格及び在留期間は、旅券又は在留カードに記載されているものを記入すること。
2. 裏面の履歴書にも正確に記入すること。
3. 虚偽の記載をした者は、入学を取り消すことがある。

履 歴			
区分	期 間	年数	学校名又は勤務先名等
学 歴	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
職 歴	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		

記入上の注意

1. 学歴は小学校から記入すること。ただし、日本国内の大学を卒業又は卒業見込みの者は、高等学校以上を記入する。  
また、日本国内の大学で研究生の経歴のある者は、学歴欄に記入すること。
2. 虚偽の記載をした者は、入学を取り消すことがある。

平成30年度  
茨城大学大学院人文社会科学研究科  
受験票

受験番号		※
志 望	専攻	
	コース	
	分野	
	専門領域	
フリガナ 氏名		男・女

----- 切り離さないこと -----

平成30年度  
茨城大学大学院人文社会科学研究科  
写真票

受験番号		※
志 望	専攻	
	コース	
	分野	
	専門領域	
フリガナ 氏名		男・女

写真

縦4.5cm×横3.5cm

正面上半身無帽で、出願  
前3ヶ月以内に撮影し  
たもの。

写真の裏面に、氏名を記  
入し貼付すること。

注意事項

- ※印欄は記入しないこと。
- 受験票は、試験当日必ず持参し、試験監督者の見やすい机の上に置くこと。

